

# 大阪アーツカウンシル2018(平成30)年度の取り組み

## 評価・審査

- 1 / 大阪府16事業、大阪市24事業について、各文化課の担当者ヒアリングと現場視察を行い、前年度同様PDCAサイクルに基づいた評価シートを作成した。
- 2 / 2018(平成30)年度「大阪市芸術活動振興事業助成金(一般[下期])」、2019(平成31)年度「大阪府芸術文化振興補助金」「輝け!子どもパフォーマー事業補助金」、「大阪市芸術活動振興事業助成金(特別)」、大阪市芸術活動振興事業助成金(一般[上期])」の事業採択審査、及び大阪市芸術・文化団体サポート事業助成金申請にかかる審査を行った。
- 3 / 2018(平成30)年度「大阪府芸術文化振興補助金」「輝け!子どもパフォーマー事業補助金」、「大阪市芸術活動振興事業助成金(一般[上期][下期]、特別)」に採択された177件について視察や実施確認を行った。

### ○ [参考]芸術文化活動を対象とした補助金・助成金

#### 大阪府芸術文化振興補助金

府民に優れた芸術文化の鑑賞機会などを提供し、芸術文化の振興を図るため、府内の団体が自主的に行う有意義な芸術文化事業に対して、補助金を交付。(最大100万円まで ※補助対象経費の1/2以内で、「補助対象経費一収入」の範囲内)補助対象は、文化を通じた次世代育成を主たる目的に府内で実施する、舞台芸術事業、出版等による文化普及事業、美術振興事業等。

#### 輝け!子どもパフォーマー事業補助金

文化を通じた次世代育成を図るため、府内の団体又は個人が自主的に行う有意義な次世代育成事業に対して、補助金を交付。(最大30万円まで ※「補助対象経費一収入」の範囲内)補助対象は、文化を通じた次世代育成を目的に府内で実施する、子ども(おおむね6歳から20歳)が参加し、文化活動を発表する事業等。

#### 大阪市芸術活動振興事業助成金

芸術・文化の振興と発展を図るため、市民等への芸術に触れる機会提供を目的として、芸術活動を行う団体及び個人に対して、経費の一部を助成。(一般は最大20万円、特別は最大400万円まで、※どちらも補助対象経費の1/2以内)、助成対象は大阪市内又は大阪府外・海外(※大阪府外・海外は「上方古典芸能普及発展支援」枠のみ)で実施する公演・展覧会・ワークショップ・芸術祭(映画祭を含む)・アートプロジェクト・シンポジウム・アーカイブ制作(※下線部分は特別助成のみ)

## 調査

- 1 / 「大阪府内における公立文化施設等にかかる調査」  
前年度の「大阪府内における劇場、ホール等文化関係施設の実態調査」を踏まえつつ、公益性のある芸術文化活動の環境整備の中核になる公立文化施設に焦点をあて、合計81施設のアンケート調査と7施設のヒアリング調査を実施した。  
また、大阪における公立文化施設の現況の一側面が明らかになるよう、公表できるデータを中心に報告書にまとめた。

- 2 / 「第一回大阪芸術文化交流シンポジウム  
-世代を超えて「演劇」課題を共有できるのか。現代演劇づくり手の視点から-」(調査)

2018(平成30)年度の大阪市芸術活動振興事業助成金の申請の約半数が「現代演劇」に関するものであった。また、大阪府・輝け!子どもパフォーマー事業補助金にも演劇プログラムが複数あった。つまり補助金・助成金からみると大阪は「演劇」活動が多い。したがって、大阪の演劇人が、日々どのように活動し、将来どのように活動をしていきたいか、大阪の演劇に関わる多様な世代の現場の声を知る必要があると考え、公開調査としてシンポジウムを行い、記録を報告書にまとめた。

## 企画



2018年7月23日(日)

大阪市立大学都市経営研究科都市政策・地域経済コース主催

「特別シンポジウム 都市・地域で問われる現代アートのカ 金沢 | 石巻 | 牡鹿半島 | 大阪」  
(大阪市立大学文化交流センター)に企画協力

- ・パネリスト 島敦彦(金沢21世紀美術館館長)、和多利浩一(ワタリウム美術館代表CEO、キュレーター)、  
雨森信(Breaker Projectディレクター/大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)
- ・モデレーター 吉田隆之(大阪市立大学都市経営研究科准教授/大阪アーツカウンシル委員)

2018年10月24日(水)

大阪市主催

「大阪市芸術活動振興事業助成金・事例報告会[アーカイブ編]」(メビック扇町)を企画

- ・報告 「維新派アーカイブス」清水翼(カンカラ社)、  
「国登録有形文化財山本能楽堂所蔵の能楽資料アーカイブス制作・第3期」山本佳誌枝(山本能楽堂)